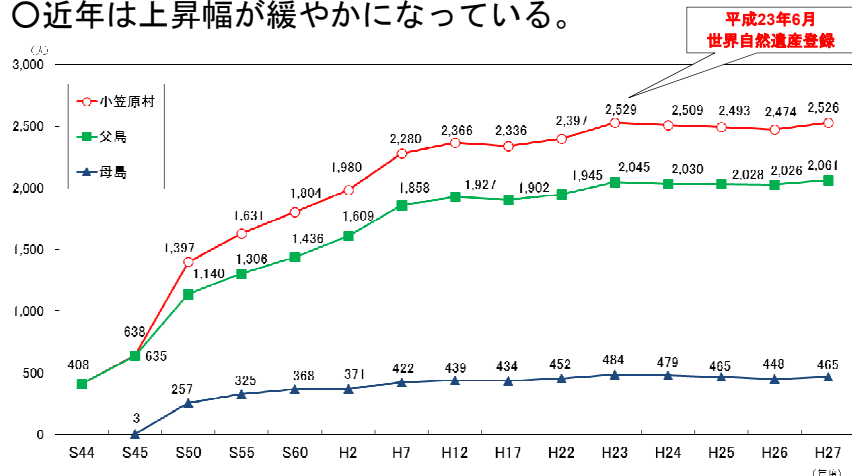


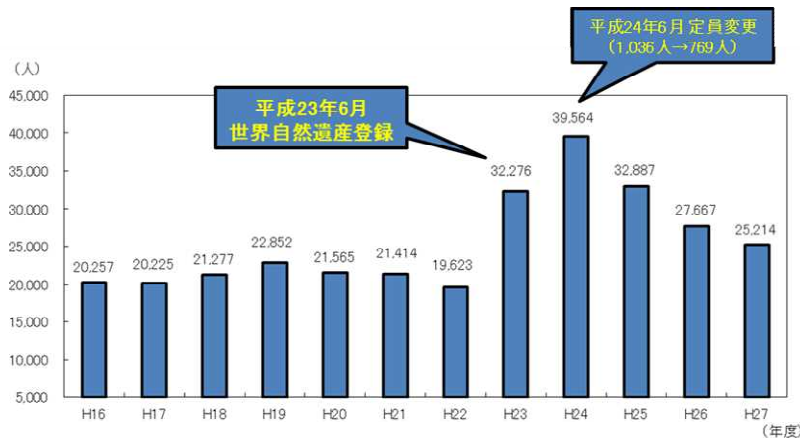
## 1. 小笠原諸島の人口

- 日本復帰当初から平成7年度まで大幅に増加。
- 平成23年度は、世界自然遺産登録により増加。
- 近年は上昇幅が緩やかになっている。



## 2. 小笠原諸島への入り込み客数

- 世界自然遺産登録効果により平成23年度から増加した観光客は、近年、落ち着きを見せている。
- 新おがさわら丸の就航により、今後増加が見込まれる。



## 3. 小笠原航路の改善

- おがさわら丸・ははしま丸ともに、平成28年7月の就航を目指し、新造船を建造。

### 新おがさわら丸

#### ○平成28年7月2日 初就航

- ・航海時間の短縮 (25.5時間→24時間)
- ・旅客定員の増加 (769名→894名)
- ・船体の大型化 (6,700トン→11,000トン)
- ・船内のバリアフリー化 等



### 新ははしま丸

#### ○平成28年7月1日 初就航

- ・航海時間の短縮 (2時間10分→2時間)
- ・旅客定員の増加 (168名→200名) 等



## 4. 海上保安体制の強化 (外国漁船への対応)

- 小笠原諸島周辺海域における大型巡視船等によるしょう戒の実施
- 東シナ海・南西諸島における航空機による監視警戒 等

### 小笠原海上保安署の強化 (H28予算等)

- 要員確保による体制強化 (4名→6名)
- 小笠原への巡視船配備に係る調査の実施

